



大銀杏

# 根



# 城



南部師行公

2020年度 第9号

八戸市立根城中学校 令和3年1月13日発行

## 跳ね返せ 逆境を 学校ぐるみで 家庭ぐるみで

今日から3学期が始まりました。今年度の冬休み中はこれまでと異なり、関東方面からの帰省や親類での行き来の自粛などにより少し寂しさを感じた生徒もいるようです。そのことが生徒の懐具合にどのような影響を及ぼしているかを探るため、始業式で「昨年とのお年玉の増減」を聞いたところ、減額が少数で、半数以上が増額という結果でした。その面においても本校生徒は逆境を跳ね返しているのかもしれません。

また、冬休み中に実施された各種大会においても、部として個人として輝かしい成績を収めました。

今学期は約2か月半という少ない日数ですが、3年生にとっては卒業後の進路を決める大事な日々の連続であり、1・2年生にとっては来年度の学年に向けての心構えを固める時期です。上の表は卒業式までの入試日程の主なものと学校・学年行事です。私立高校を第一希望とする3年生は明日からが本番であり、その後にもそれぞれが選んだ進路への挑戦が続きます。

しかし、新型コロナウイルスの感染状況に目をやると、既に非常事態宣言が出された1都3県のみならず、その周辺県や関西、中部地方でも宣言が要請されています。本市においても安心できる状況ではありません。昨年4月の非常事態宣言(学校は臨時休業)の時よりも感染リスクは高まっているという見方もあります。

確かに1年前よりはウイルスの特徴については明らかになってきましたが、予防対策は進んだかということ、自信をもってうなずくことはできません。慣れなら来る油断も垣間見られます。確かな効果のあるワクチン開発まではひたすら我慢という風潮もあります。しかし、諦めは禁物です。これまで続けてきた感染予防対策の徹底が、今できる最大の防御です。これから予定されている入試(家庭によっては大学受験や就職試験)、学年行事、そして卒業式を少しでも安心感をもって迎えられよう、学校ぐるみで家庭ぐるみで真剣に取り組み、この逆境を跳ね返していきたいものです。

	入試・行事等
1 / 1 4	工大二推薦他
1 / 1 5	工大一・ウルスラ・光星推薦
1 / 1 8	千葉推薦
1 / 3 0	高専推薦
2 / 4	八戸高等支援産業科
2 / 1 0	私立高校・立志式(2年生)
2 / 2 1	高専
2 / 2 5	八戸高等支援普通科
3 / 3	進級に向けた儀式(1年生)
3 / 5	青森県立高校
3 / 1 1	卒業式

## 学校評価アンケート(2学期)の結果のお知らせ

保護者の皆様のご協力に感謝いたします。アンケート11項目についての結果は以下のとおりです。項目ごとに1学期から2学期への推移も掲載しました。

＜生徒、保護者、教職員とも肯定的な回答(「よい」「ややよい」が8割を超えた項目)＞

☆意欲的な授業 生徒(92%→92%)、保護者(84%→83%)、教員(88%→80%)

「主体的に学ぶ生徒の育成」を校内研の研究主題とし、「目標」「学習の流れ」「まとめ」の明示とICT機器の活用によって、学習内容の定着を図ってきました。今後も推進します。

☆学習面でのサポート 生徒(97%→94%)、保護者(77%→80%)、教員(88%→88%)

昨年度は未達成項目でした。生徒はサポートについて満足していますが、今後も実効性のある家庭学習方法、生徒それぞれ学習状況に応じた指導に工夫を凝らしていきます。

☆積極的な学級活動 生徒(90%→89%)、保護者(88%→87%)、教員(88%→89%)

学級や学校での生活に課題を見出し、自分たちの手で解決するためのアイデアを出し合いながら、自己存在感と有用感のある学級づくりを進めます。

☆安心できる学校生活 生徒(95%→91%)、保護者(91%→91%)、教員(96%→93%)

日常の会話や観察、アンケート等から生徒の悩み等を早期に発見し、教職員の教育相談とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による対応を進めます。

☆生徒の努力を認める教職員 生徒(95%→93%)、保護者(88%→90%)、教員(96%→92%)

授業、行事、学校生活等で、生徒一人一人に関わりをもち生徒理解に努め、「NEJO LIFE」や作品等へのコメントや声かけ等を通して、生徒の成長や変化を具体的かつタイムリーに伝えます。

☆相談できる環境づくり 生徒(91%→90%)、保護者(89%→91%)、教員(92%→92%)

今後も定期考査後のアンケートや日常観察を基に、担任・部活動顧問、養護教諭・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等との教育相談を推進します。

☆生徒の活躍の場の確保 生徒(87%→87%)、保護者(77%→90%)、教員(72%→88%)

2学期は1学期からの延期分も含めた行事等があり、生徒の活躍する場が多く設けられました。今後も感染防止対策を講じたうえで、活動の充実のための工夫を施しながら活躍の場を設けます。

☆いじめの防止 生徒(94%→93%)、保護者(78%→82%)、教員(96%→93%)

昨年度は未達成項目でした。校内での情報提供・共有を徹底し、生徒、保護者への対応をきめ細かく行うとともに、「いじめは許さない見逃さない」という方針のもと、毅然とした指導を行います。

＜生徒、保護者、教職員のいずれかが肯定的な回答が8割に達しなかった項目＞

★明確な目標と計画を立てて実行 生徒(94%→92%)、保護者(72%→71%)、教員(93%→85%)

「NEJO LIFE」等を活用して生活や学習の目標や計画を立てることを進めています。今後も生徒への意識化を図るとともに、家庭での実践状況の把握に努めます。

★家庭学習習慣の確立 生徒(80%→78%)、保護者(58%→55%)、教員(74%→77%)

この項目は毎年の大きな課題です。宿題等の出し方や一人学習の在り方について更に指導を工夫します。家庭では上手な時間の使い方、時間と場所の確保についてご協力をお願いします。

★将来の職業についての学習 生徒(93%→92%)、保護者(74%→77%)、教員(84%→77%)

職業調べ、高校調べ、職場訪問等の学習、講師を招いてのキャリア教育講演会等を通して、自己理解と多様な価値観を基に将来のことについて考える意欲と能力の向上をめざします。